

「QCサークル石川馨賞奨励賞」受賞



当社オレンジサークルが日本科学技術連盟の2013年度「QCサークル石川馨賞奨励賞」を受賞することが決定し、12月13日の全国大会（沖縄）で行われる授賞式で表彰されることとなりました。この賞は、QCサークルの生みの親である故石川馨博士の偉大な功績をたたえるために1965年に創設され、全国約1,700件の発表の中から推薦・審査を経て、特にQCサークル活動の普及・発展・活性化に貢献したQCサークルが表彰されます。

当社では、教育・改善活動の一環として1972年よりQCサークル活動を取り入れておりますが、今回初めて「QCサークル石川馨賞奨励賞」受賞となりました。

株式の状況 (2013年9月30日現在)

①発行可能株式総数	80,000,000株
②発行済株式の総数	21,610,000株 (自己株式 28,957株を含む)
③株主数	2,926名
④大株主	

株主名	持株数	持株比率
日野自動車株式会社	6,535 ^{千株}	30.28%
株式会社デンソー	2,000	9.26
本田技研工業株式会社	1,300	6.02
株式会社三井住友銀行	600	2.78
澤藤電機従業員持株会	533	2.46
株式会社りそな銀行	500	2.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	400	1.85
三井住友信託銀行株式会社	300	1.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	210	0.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	204	0.94

(注) 持株比率は自己株式(28,957株)を控除して計算しております。

会社概要 (2013年9月30日現在)

■ 英文社名
SAWAFUJI ELECTRIC CO., LTD.

■ 設立
1919年5月10日

■ 資本金
1,080,500千円

■ 事業内容
当社は下記製品の開発・製造・販売を行っております。

● 電装品
主としてディーゼルトラック・バス用電装品であります。このほか汎用・船用電装品及び油圧機器用小型DCモータも扱っております。

● 発電機
可搬式発電機及び同製品用発電機です。

● 冷蔵庫
各種車両用及び船舶用電気冷蔵庫です。

■ 事業所
本社・新田工場
群馬県太田市新田早川町3番地

■ 役員 (2013年9月30日現在)

代表取締役社長	上田英樹
専務取締役	山谷光正
常務取締役	小原賢二
常務取締役	田中幸二
常務取締役	瀬尾信一郎
常務取締役	中川幸宏
取締役	和具健治 *1
取締役	遠藤真 *1
取締役	渡部尚由紀
取締役	曾根健清
常勤監査役	藤尾清
監査役	梶川宏 *2
監査役	安達美智雄 *2
監査役	久米原宏之 *2
監査役	登坂孝之

*1 社外取締役
*2 社外監査役

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	
定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日
公告方法	以下の当社ホームページにて電子公告により行います。 http://www.sawafuji.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

INFORMATION

株主優待制度のご案内

1. 株主優待の方法

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様で、かつ1,000株以上保有する株主様に対し、QUOカードを年1回、以下の基準により贈呈いたします。

2. 優待内容

1,000株以上5,000株未満保有の株主様	1,000円分
5,000株以上保有の株主様	3,000円分

3. 贈呈時期

毎年6月の定時株主総会後に発送いたします。

株主の皆様が読みやすい冊子にするため、この中間株主通信ではユニバーサルデザイン書体を使用しています。

SAWAFUJI

第118期 中間株主通信

2013年4月1日～2013年9月30日



澤藤電機株式会社

証券コード：6901

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第118期連結会計年度における中間株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大規模な金融・財政政策や円安に伴う輸出競争力向上の影響を受けて企業業績や設備投資が改善し、景気に緩やかな回復傾向が見られたものの、一方で原材料の上昇による企業収益への影響が危惧されました。

このような状況の中、当社グループは、国際的な視野に立った製品の販売力の強化とさらなる品質向上に努め、活力ある企業経営を推進してまいりました。

しかしながら、図表1「連結損益計算書」に記載のとおり、売上高は、中国経済の減速、発電機の在庫調整等により、前年同期と比べ18億78百万円減の129億57百万円となりました。損益面では、電装品事業及び発電機事業の販売減に加え、円安による仕入コスト増等があり、営業損益は前年同期と比べ2億13百万円減で81百万円の損失、経常損益は2億1百万円減で86百万円の損失、四半期純損益は2億21百万円減で59百万円の損失となりました。

直前4事業年度の第2四半期連結累計期間を含む売上高及び損益の状況は、図表2「連結決算ハイライト」をご高覧いただきたいと思います。

今後の経済環境は、国内は政治主導による成長戦略に期待が持たれるものの、個人消費動向の不透明感などが懸念されます。海外では欧州は製造業の景況感に改善が窺えますが、米国における金融緩和の早期縮小を巡る問題や新興国経済の減速が憂慮され、予断を許さない状況にあります。

このような情勢の下、当社の第118期連結会計年度の業績予想ですが、売上については、電装品事業及び冷蔵庫事業は堅調に推移すると思われるものの、発電機事業の国内及び自社ブランド発電機「ELEMEX」の海外販売先在庫調整が今後も継続すると見込まれるため、残念ではございますが年度当初の計画値を下回ることが予想されます。また、利益に関しましても、売上減に加え円安による仕入れコスト増等があり、同様に計画値を下回る見通しとなりました。

経営の重要課題の一つでございます株主様への配当金につきましては、誠に遺憾に存じますが厳しい経営状況に鑑み、当期末配当金につきましては1株当たり2円とさせていただきます。

当社は、来年、会社創立80周年の節目を迎えます。創立以来の理念として培ってまいりました技術革新という原点を再確認するとともに、新たにTQM (Total Quality Management) による経営管理手法を取り入れることで改善を図り、今後とも厳しい市場競争を勝ち抜くうえで必要な企業体質の強化を図ってまいります。

株主の皆様には、従前と変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

上田 英樹

連結財務諸表(要旨)

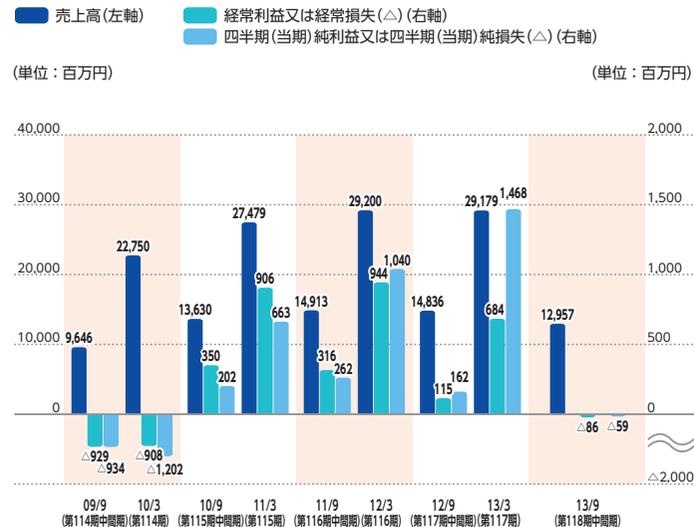
連結損益計算書 (図表1)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
		自2013年4月1日至2013年9月30日	自2012年4月1日至2012年9月30日
売上高		12,957	14,836
売上原価		11,837	13,570
売上総利益		1,120	1,265
販売費及び一般管理費		1,201	1,133
営業利益又は営業損失(△)		△81	131
営業外収益		84	73
営業外費用		90	89
経常利益又は経常損失(△)		△86	115
特別利益		-	0
特別損失		0	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)		△87	102
法人税等		△20	△56
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)		△66	159
少数株主損失(△)		△7	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)		△59	162

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結決算ハイライト (図表2)



連結貸借対照表 (図表3)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期連結会計期末	前連結会計年度末
		2013年9月30日	2013年3月31日
(資産の部)			
流動資産		10,947	11,302
固定資産		7,821	7,569
有形固定資産		3,426	3,392
無形固定資産		205	226
投資その他の資産		4,188	3,950
資産合計		18,768	18,871
(負債の部)			
流動負債		8,193	8,391
固定負債		2,853	2,789
負債合計		11,046	11,180
(純資産の部)			
株主資本		4,974	5,163
資本金		1,080	1,080
資本剰余金		117	117
利益剰余金		3,783	3,972
自己株式		△7	△7
その他の包括利益累計額		2,505	2,300
その他有価証券評価差額金		2,381	2,227
為替換算調整勘定		123	73
少数株主持分		242	228
純資産合計		7,722	7,691
負債純資産合計		18,768	18,871

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (図表4)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
		自2013年4月1日至2013年9月30日	自2012年4月1日至2012年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		△1,519	144
投資活動によるキャッシュ・フロー		△412	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー		897	△66
現金及び現金同等物に係る換算差額		76	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△957	△79
現金及び現金同等物の期首残高		1,794	1,863
現金及び現金同等物の四半期末残高		837	1,783

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。